

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和6年11月14日（木） 19時～20時

場 所 日進公民館 2階ホール

出席者	申込団体	つながりのわ 日進みらいの会	人数	21人
	碧南市	小池市長、地域協働課長		

テーマ	まちづくり行政の隙間を埋める市民のボランティア活動について
(概要)	・日進みらいの会の「10周年メモリアル」に描いた10年後を実現させるために、今からどうするか。 ・私たちの活動目標「赤ちゃんから、じっちゃんばっちゃんまで、元気で笑顔あふれる日進地区」にするためにやることは何か

要旨

主な意見は以下の通り

- ・フラワーロードの花植えや草取りが、会員は手いっぱいになっている。地域をもっと巻き込んでいけるかが課題。
→市民は勝手には入ってこない。一緒にやらないかって声をかけないと。
- ・市の職員もまちづくりに携わってほしい。
- ・何かやりたいという意識がある人はたくさんいるが、どうやって上手に引き込むか。
- ・核になる人がいる。その人に人がついてくる。
- ・まちづくり組織について、市はもっと増やしていく考えはあるか。
- ・町内会長は1年で変わってしまう。そのつなぎをみらいの会、公民館職員もやってる。
- ・活動をするにはお金がいるが、活動資金の援助をしてもらえないか。
- ・公園愛護活動では、公園を掃除すると少しお金がもらえるが、県道を掃除してもらえない。市も業者に委託するのではなく、団体に援助できる仕組みを考えてほしい。
- ・カフェを有料にしたり、苗や野菜を販売してよいか。
- ・自分が作るオーガニック野菜を使って、こども食堂をやりたい。
- ・おやじの会は各小学校区にあるので、声かけしてくれれば。
- ・ボランティアは自分が楽しめることをやらないと続かない。

(市長総括)

- ・地域を巻き込んでやるのは難しいが、自分たちが楽しんで、一緒に活動する人を増やしてほしい。
- ・活動資金がないなら、どうやってお金をつくるか市役所、企業などいろんな人に相談してほしい。